

沖縄復帰 50 周年特設授業を、全学級一斉に実施しました！

5月9日(月)1校時、沖縄県復帰50周年事業の一環として、「復帰前後の沖縄の歴史を学ぼう」をテーマに、全学級一斉に特設授業を実施しました。前教頭内山直美先生の教材を基に、社会科の照屋あすか先生(復帰っ子)が授業づくりをリード、先生方が生徒役になって実際の授業を体験する校内研修(4月)を通して、本時の授業を迎えました。

生徒は、1972年5月15日、沖縄がアメリカ軍の支配から日本に返還されたことや、現代とは異なる50年前の復帰前後の写真から、当時の沖縄を学んでいました。

今回の特設授業のように、**1つの授業を全職員で共有し、創り上げる組織的な授業改善**が、「教科の壁」を乗り越え、本県の中学校期における学力課題への改善につながることを期待されています(沖縄県学力向上推進フォーラムより)。

あすか先生をはじめ、特設授業を実践された学級担任の先生方、ありがとうございました。



図1 5月15日は何の日? 1年8組(上)、3組(下)

生徒インタビュー『今日の授業で何を学ぶことができましたか?』(3年6組Iさん)

私は県外出身なので、沖縄が50年前にアメリカの統治下であったことや、写真を介して、当時の人々の感情や生き方を連想することができてよかった。沖縄の伝統芸能が好きなので、これからも引き継がれてほしい。



図2 資料1 (車は右から左へ 1978/7/30)



図3 資料2 (ドルから円へ、忙しい銀行)



図4 各班で、資料の写真を見て気づいたことをフォトランゲージに書き込み、全体発表する(3年8組・NHK取材)

